

East African Borders From Colonial Partition to Contemporary Disputes

場所：
対面 (東京外国語大学
研究講義棟 113 教室)
& **オンライン** (Zoom ミーティング)

現代のアフリカ各国の国境は、1884～85年のベルリン会議において、ヨーロッパの帝国主義者の要求を満たすように恣意的に引かれたものです。オニャンゴ博士は、ウガンダを事例に、こうした国境がアフリカの社会政治的な不安定さにどのように影響しているかを議論します。

日時：
2021

講演者：

エリア・オロウオ・オニャンゴ博士

現代アフリカ地域研究センター・客員准教授
マケレレ大学・講師

12/10 **金**

17:40 - 19:10
(日本標準時)

(**8:40 - 10:10**)
(グリニッジ標準時)

◆使用言語：英語

◆参加費：無料

◆参加をご希望の方は、右の QR コード、または本セミナー案内ページ (<http://www.tufs.ac.jp/asc/events/ascseminar/211210ASCseminar64.html>) より事前にお申し込みください。定員：対面 50 名、オンライン 300 名。申し込み〆切：2021 年 12 月 8 日 (水)。定員に達しだい締め切らせていただきます。Zoom 情報は 12 月 9 日 (木) に登録メールアドレス宛てにお送りします。

◆共催：現代アフリカ地域研究センター、日本アフリカ学会関東支部、アフリカンウィークス 2021 実行委員会

